

指定管理者制度導入施設の将来ビジョン

施設名	大分県立フェンシング場
所在地	大分市青葉町1番地
県の所管部局(課・室)	教育庁 体育保健課
設置年月日	平成11年4月28日(設置から21年11か月)※令和3年4月1日現在
設置目的	県民の体育及びスポーツの振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与するため。
指定管理期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日

【検討結果】

施設の今後のあり方

	存続 (利活用)	存続 (整理統合)	廃止
理由	<p>①県内唯一のフェンシング専用屋内施設で、小学生から社会人が、週4日～5日利用。</p> <p>②東京2020オリンピックに本県ゆかりの選手が3名(※)出場、これまでの国体での本県内の競技別得点の合計が2位と、今後も強化戦略上最重要競技の一つとして、重点強化を図る。</p> <p>③本県フェンシング競技の競技水準の高さに加え、東京オリンピックによるフェンシング人気もあることから、今後の安定的な利用が見込まれる。</p> <p>①～③の理由により、本県フェンシング競技の拠点施設として、競技力向上のため引き続き存続する必要がある。</p>		
管理方法の検討(存続の場合)	<p>県内フェンシング競技の強化拠点施設として、競技力の向上のため、引き続き公募による指定管理を継続する。</p>		

ビジョンの設定期間

ビジョンの設定期間	令和4年度～令和13年度
次回策定(中間見直し)	令和8年度
次回指定管理者公募予定	令和4年8月

存続の場合

1. 目指すべき施設像及び利用者像等

施設像	長期的展望に立った選手強化を図り、フェンシング競技の競技力向上に寄与できる施設を目指す。		
利用者像	<ul style="list-style-type: none">①初めてフェンシングを体験する小学生及びジュニアクラブ(小・中学生)の選手②高等学校のフェンシング部で活動している生徒③国内外の大会出場を目指す大学生及び社会人④県外の優秀チーム(選手)		
定量的 目標達成指標	①	年間利用者数	令和 5年度～令和 9年度 12,000人／年
定性的 目標達成指標	①	フェンシング競技の普及振興 (当課のタレント発掘事業、体験教室等の様子をマスメディア、ホームページ、SNSで積極的に広報する。)	

2. 目指すべき像を達成するための課題とその解決策、実施方法・実施時期（解決への優先順に記載）

課題1	人口減少・少子高齢化に関する課題
少子化による競技人口の減少、健康で活力に満ちた長寿社会を実現するため、高齢者の運動機会を創出すること。	
解決策	①県フェンシング協会と連携し、小学生対象フェンシングの体験教室を充実。 ②フェンシング競技以外で、高齢者をターゲットにした健康・体力づくり教室を実施。
実施方法 ・ 実施時期	①小学生対象フェンシングの体験教室開催回数 2回／年 ②高齢者向け健康・体力づくり教室開催回数 100回／年 ①、②ともに令和3年度～令和4年度まで

(参考)	平成30年度(2018年度)	令和12年度(2030年度)	令和27年度(2045年度)
予測利用者数(人)	12,929	12,709	11,752
直近年度比		98.30%	90.90%

※令和元年度及び2年度が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設の休館等があつたため、基準値は平成30年度を使用する。

課題2	施設管理に関する課題
利用者が安全・安心に施設利用できること。	
解決策	利用者ニーズを踏まえ、施設・備品等の充実を図る。
実施方法 ・ 実施時期	利用者の意見を取り入れながら、修繕等の優先順位付けを行い、実施する。 (令和5年度～令和9年度実施予定) <ul style="list-style-type: none"> ・入口前の手すりの設置 ・トイレの温水洗浄便座化 ・ピストの更新 等